

2025年7月31日

各 位

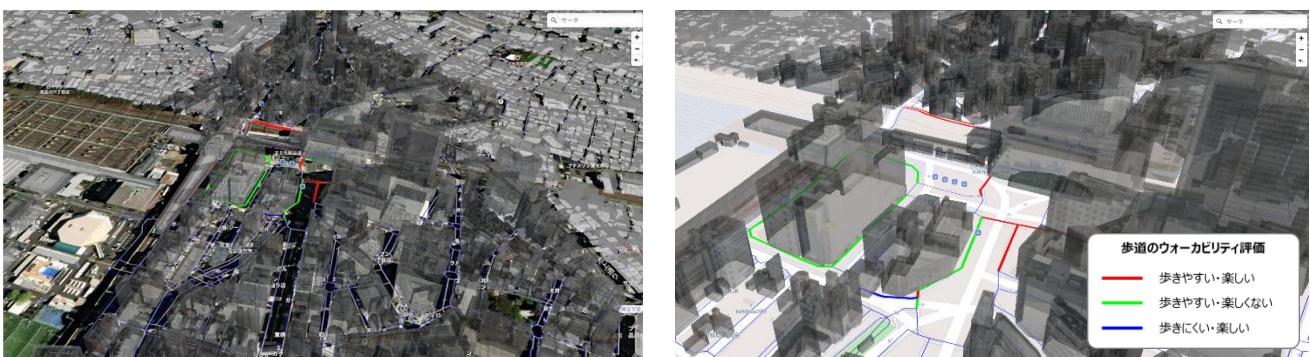
東京都港区港南四丁目1番8号
会社名 アドソル日進株式会社
代表者名 代表取締役社長 篠崎俊明
コード番号 3837 東証プライム市場
問合せ責任者 取締役管理本部長 寺村知万
(TEL 03-5796-3131)

東京都「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」支援プロジェクト 「デジタルエリアデザインの共創 in 大井町」に参画

～慶應義塾大学との産学連携「GIS×IoT まちづくり」に基づく「スマートシティ支援プラットフォーム」を開発～

アドソル日進株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 篠崎俊明、以下：アドソル日進）は、2017年から慶應義塾大学SFC研究所 厳網林研究室と「GIS×IoT まちづくり」をテーマとした共同研究を推進しています。

本共同研究の一環として、このたび、東京都「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」の令和6年度支援プロジェクトに選定された「デジタルエリアデザインの共創 in 大井町」に参画し「スマートシティ支援プラットフォーム」の開発を担当することとなりましたので、お知らせいたします。



慶應義塾大学SFC研究所 厳研究室と共同開発中の「スマートシティ支援プラットフォーム」（「道」の歩きやすさを評価し、GISを活用したプラットフォーム上で表現した例）

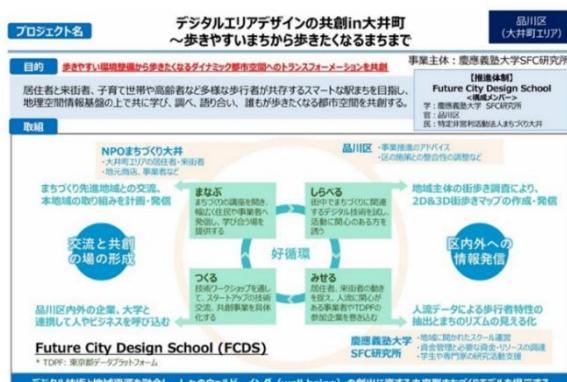
出典：3D都市モデル（Project PLATEAU）品川区（2024年度）

（一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 \$ 都市局 \$ 3D都市モデル（Project PLATEAU）品川区（2024年度）\$ データセット）

1. 「デジタルエリアデザインの共創 in 大井町」について (令和6年度「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」採択事業)

本プロジェクトは、健康的な暮らしや賑わいの創出、脱炭素への貢献などの複合効果をもたらし、まちづくりの手がかりとして期待されている「ウォーカビリティ（歩きやすさと歩く楽しさを評価する指標）」に着目し、街の現況及び日々変化する情報を2D/3Dデジタルエリアマップに統合することにより、スマートでウォーカブルな未来型まちづくりモデルの提示を目指す取組みです。

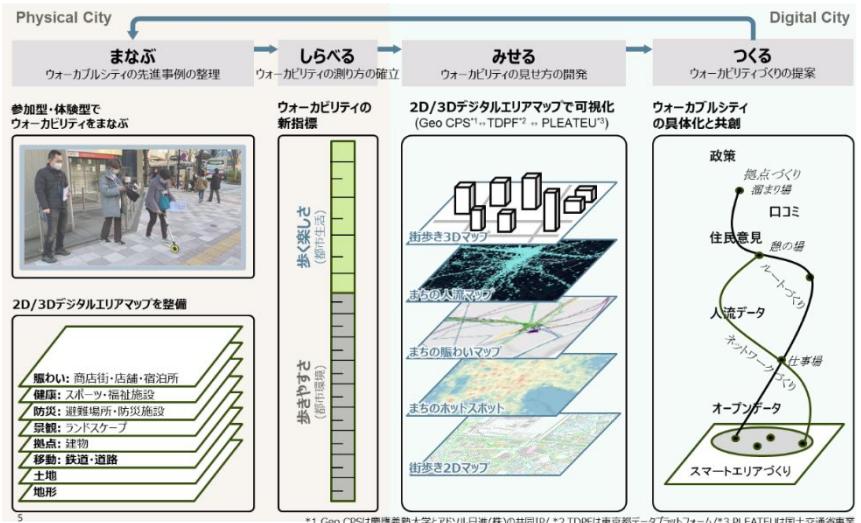
SFC研究所「みらいのまちをつくる・ラボ」にフューチャーデザインスクール（FCDS）を開講し「①まなぶ」「②しらべる」「③みせる」「④つくる」という4テーマにおける産官民のインタラクティブな活動を通じ、誰もが歩きたくなる都市空間の共創を進めます。



出典：慶應義塾大学SFC研究所
[「みらいのまちをつくる・ラボ」](#)

アドソル日進は、「②しらべる」
「③みせる」の領域で、これまで厳研究室との共同研究で培ったノウハウ
及び「GIS×IoT まちづくり」のプラットフォームをベースに、人流など未来型まちづくりに必要な情報をデジタル化した、スマートシティ支援プラットフォーム開発とサービス提供を担当します。

出典：2025年3月28日
第6回 Oimachi Research Forum 資料
「デジタルエリアデザイン in 大井町」、厳網林作成



2. プロジェクト概要

名 称	デジタルエリアデザインの共創 in 大井町～歩きやすいまちから歩きたくなるまちまで
代 表	慶應義塾大学環境情報学部教授 厳網林
推進メンバー	慶應義塾大学 SFC 研究所、品川区、NPO まちづくり大井
期 間	2024年10月1日～2027年3月31日
概 要	ウォーカビリティは、健康的な暮らしや賑わいの創出、さらには脱炭素への貢献などの複合効果をもたらし、まちづくりの手がかりとして期待されています。 本プロジェクトでは、「みらいのまちをつくる・ラボ」にフューチャーデザインスクール（FCDS）を開設し、2D/3D デジタルエリアマップ技術を導入します。 これを拠点に、まちの変貌を捉え、地域主体でスマートなウォーカブルシティを共創し、未来型のまちづくりモデルを提示します。

3. 東京都「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」について

東京都は、デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、サービスの質・QOS を向上させることで、都民が質の高い生活を送ることができる東京版 Society5.0 である「スマート東京」の実現を目指しています。

その取組みの一つとして「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」を採択、支援プロジェクトを通じ、地域課題解決や住民ニーズの充足など、まちのスマート化に関する取組みを推進しています。

支援プロジェクトには、各プロジェクト実施にかかる経費の支援に加え、プロジェクトが円滑に進むよう、知見やネットワークの提供、取組みの発信などのサポートがあります。

■関連 URL

- ・東京都「[地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業/SMART TOKYO CHIIKI PROJECT](#)」
- ・東京都プレスリリース（2024年10月21日付）
[「地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業」支援プロジェクトを選定しました！」](#)
- ・SFC 研究所 [フューチャーシティデザインスクール\(FCDS\)コンソーシアム](#)

4. 慶應義塾大学 SFC 研究所 厳網林教授のコメント

アドソル日進とは、これまで「GIS×IoT まちづくり」をテーマに、住み続けられるまちをテーマにしたプロジェクト、都市の食・エネルギー・水の消費に伴う CO₂ の排出評価及び可視化を支援するプラットフォーム開発など、様々な取組みを共同で進めてきました。

今回、「ウォーカビリティ」をテーマに、スマートシティに求められるマルチモーダルの地理空間情報を統合的に活用するプラットフォームの開発を進めています。このプラットフォームを利用して、基盤地図や歩行者ネットワークなどのハードウェアと、まちの魅力スポット（PoI）や日々の人流を分析することができます。

アドソル日進が長年培ってきた GIS・IoT を中心とした技術力・知見に期待しています。

5. アドソル日進の今後の取組み／展望

アドソル日進は、中期経営計画「New Canvas 2026」で掲げた成長事業のひとつ「スマートインフラ／ライフ」の実現に向け、「GIS：地理情報システム」「IoT 情報」による空間情報の活用を中心としたソリューションを展開しております。

今後は、共同研究で得た知見に GeoAI 技術による分析等を加えることにより、未来のスマートシティの基盤を支える「スマートインフラ／ライフ」関連ビジネスを推進していく方針です。

■アドソル日進と慶應義塾大学 SFC 研究所 厳研究室との主な取組み

- ・[慶應義塾大学と「GIS と IoT の融合」に関する共同研究と「GIS×IoT プラットフォーム」の共同開発のお知らせ](#)（2017 年 9 月 7 日）
- ・[国際共同研究：「郊外まち住環境センシングプロジェクト」に参加中](#)（2019 年 10 月 23 日）
- ・[【SDGs】アーバンデータチャレンジ 2020 で「優秀賞」!](#)（2021 年 4 月 9 日）
- ・[「地理情報システム学会 GeoAI 分科会セッション」にて講演](#)（2023 年 10 月 17 日）
- ・[【脱炭素の取組み】KEIO TECHNO-MALL 2024（慶應科学技術展）で共同開発ソリューションを展示](#)（2025 年 1 月 14 日）

以上

報道関係者 お問い合わせ先：

アドソル日進株式会社 経営企画室 広報・IR 担当

TEL（代表）：03-5796-3131 e-mail：ir@adniss.jp

※ 本リリースに記載された内容は、**発表日時点の情報**です。その後、サービス提供状況や仕様などが変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。なお、本文中において TM、®マークの一部を記載しておりません。